

2023年度
(令和5年度)

紋別市における景気動向調査

<第4四半期>

報 告 書

紋別商工会議所

目 次

I. 調 査 要 領

- 1. 調査時点及び調査対象期間 1
- 2. 調査対象 1
- 3. 回収状況 1

II. 概 況

- 1. 全体の動き 2
 - (1) 今期の業況 2
 - (2) 部会別の動向 3
- 2. 今期の動向
 - (1) 今期の売上高・生産高 7
 - (2) 今期の採算 8
 - (3) 今期の資金繰り 9
 - (4) 今期の在庫水準 10
 - (5) 今期の借入金の金利水準 10
 - (6) 設備投資の実施状況 11
- 3. 来期の見通し
 - (1) 来期の業況見通し 11
 - (2) 来期の売上高・生産高見通し 12
 - (3) 来期の資金繰り見通し 12

III. 各 指 標

- 1. 各指標 13

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2024年4月8日
- (2) 調査対象期間 2024年1月～3月期の実績および2024年4月～6月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各30社、計150社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業+食品業部会	30社	12社	40.0%
水産業部会	30社	14社	46.7%
機械工業部会	30社	15社	50.0%
建設業部会	30社	19社	63.3%
観光・サービス業+諸業部会	30社	19社	63.3%
合計	150社	79社	52.7%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概況

－前年同期から大幅な悪化。次期は今期と同様の見通し－

1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(2024(令和6)年1月～3月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**▲25.3**となり、前年同期(R5.1～3月1.2)と比べると、**26.5ポイント悪化**となりました。

部会別に前年同期比ベースをみると、商業・食品業[前年DI値▲8.3→**今期▲16.6**]、水産業[前年DI値6.3→**今期▲64.3**]、機械工業[前年DI値▲13.3→**今期▲20.0**]、建設業[前年DI値9.1→**今期▲26.3**]、観光・サービス・諸業[前年DI値6.7→**今期▲5.2**]となりました。

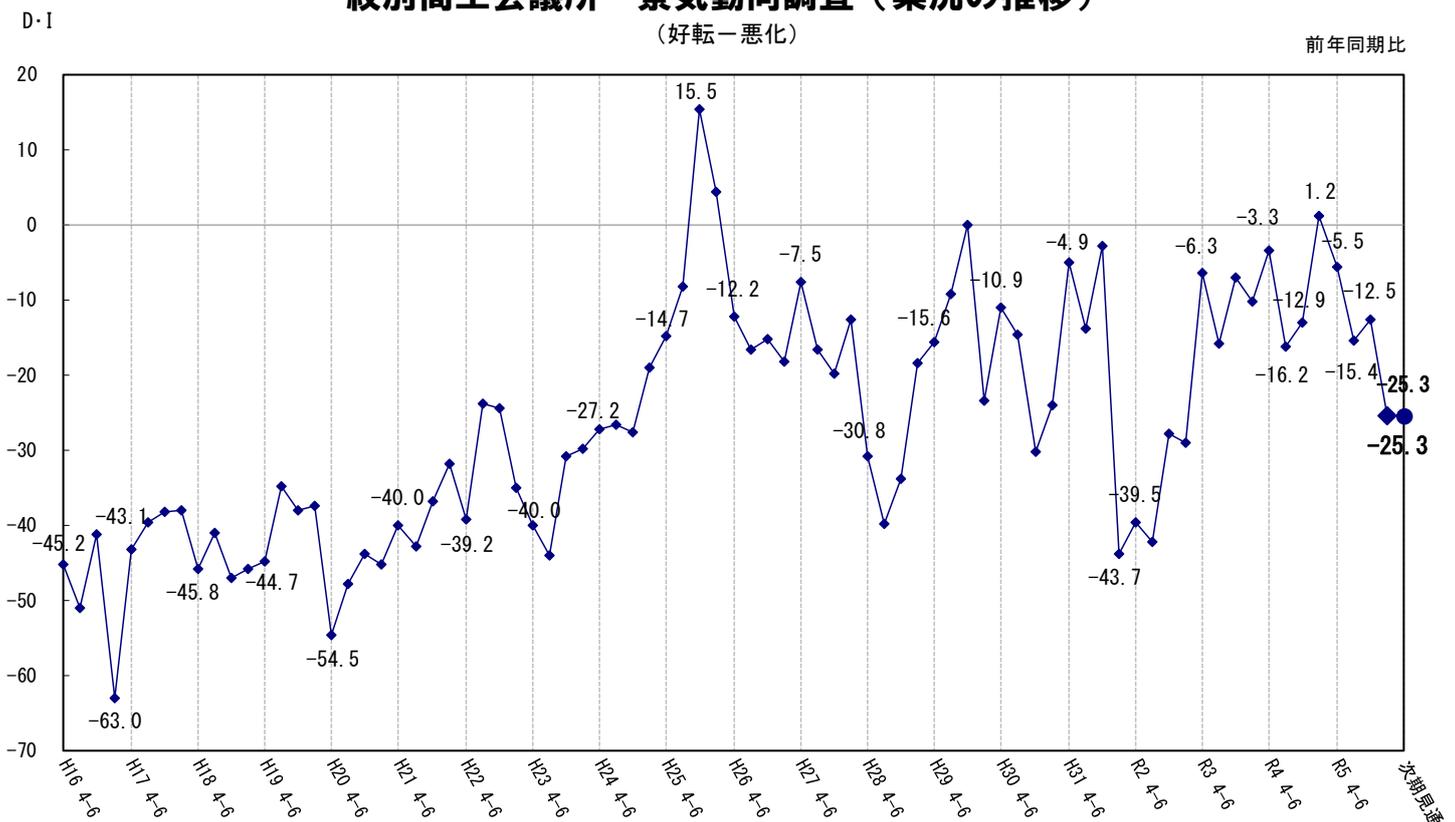
今回の調査では、前年同期と比べると**全業種で「悪化」、特に水産業と建設業は大幅な「悪化」**となりました。前年同期は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の緩和による消費拡大によりプラスの値を記録していました。しかし、今期においては消費が落ち着いてきたことや、以前から続く「仕入・原材料価格の上昇」が全業種の業況悪化の原因になっています。それに加え、「ALPS処理水」の海洋放出による中国向け輸出の制限が水産業、材料単価・運送費のコスト上昇が建設業の業況の大幅な悪化につながっていると考えられます。

次期(2024年4月～6月)の見通しについては、**業況判断DIが▲25.3と今期と同じような業況になる**予測となっています。

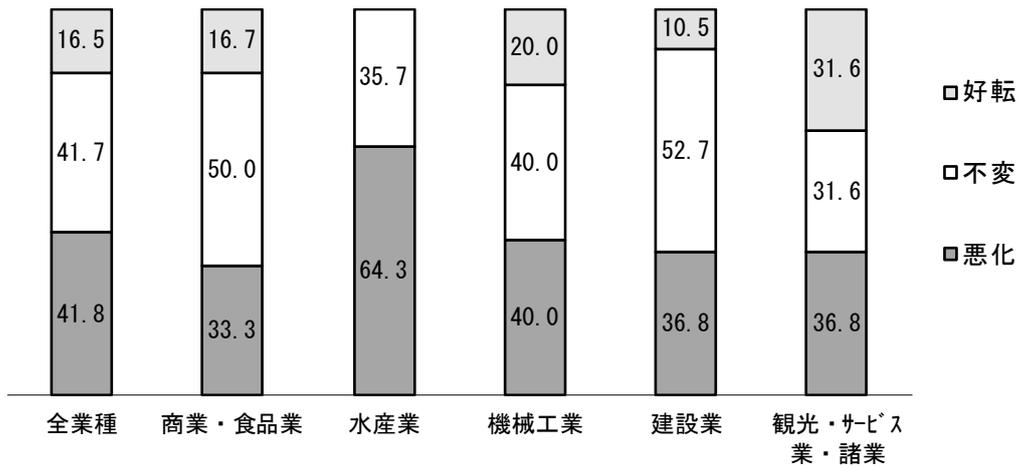
紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転－悪化)

前年同期比



今期の業況（前年同期比）



全業種の経営上の問題点としては、「仕入・原材料・材料単価の上昇」、「従業員の確保難」、「人件費の増加」を訴える声が多くなっています。

■部会別の動向

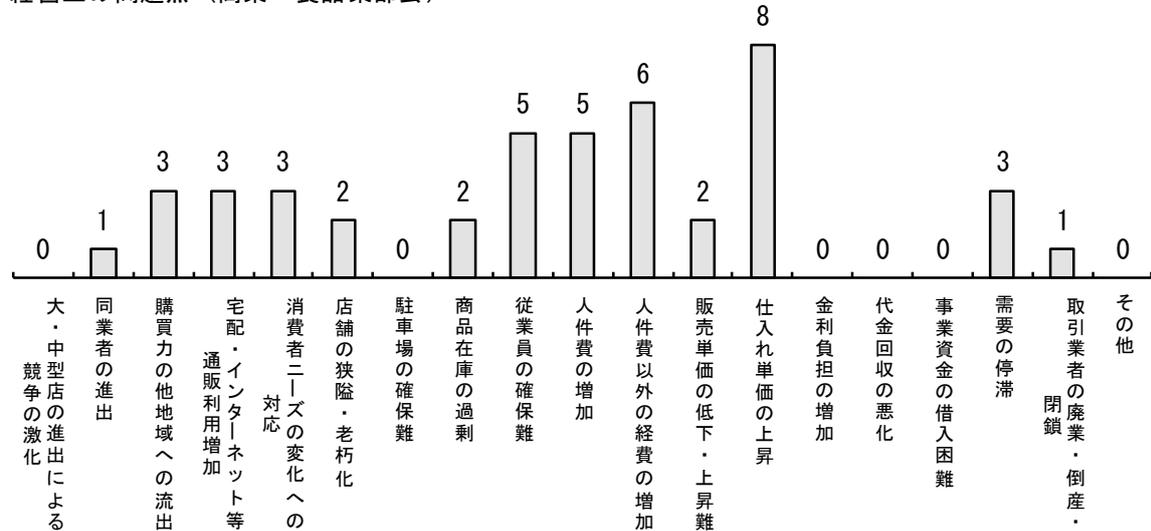
【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲16.6（前年DI値▲8.3、来期見通し▲25.0）〕

業況DI値（前年同期比）は、前年同期と比べ8.3ポイントの悪化となりました。燃料価格や物価高騰により消費減退の影響を受けています。紋別市が全市民に配布した「紋別市消費拡大クーポン券」の効果もあり、業況の大幅な悪化を防いでいることが窺えますが、依然として消費の節約志向の高まりが続くことが予想されます。来期は、▲25.0と今期よりさらに悪化する見通しになっています。経営上の問題点としては、「仕入単価の上昇」、「人件費を含む経費の増加」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・海外同業者の進出が多く、仕入が不足してきており、商品をどのように確保すべきか頭を悩ませている。商品が値上がりすると盗難が多くなるので、盗まれないように管理することが難しい。（金属販売）

経営上の問題点（商業・食品業部会）

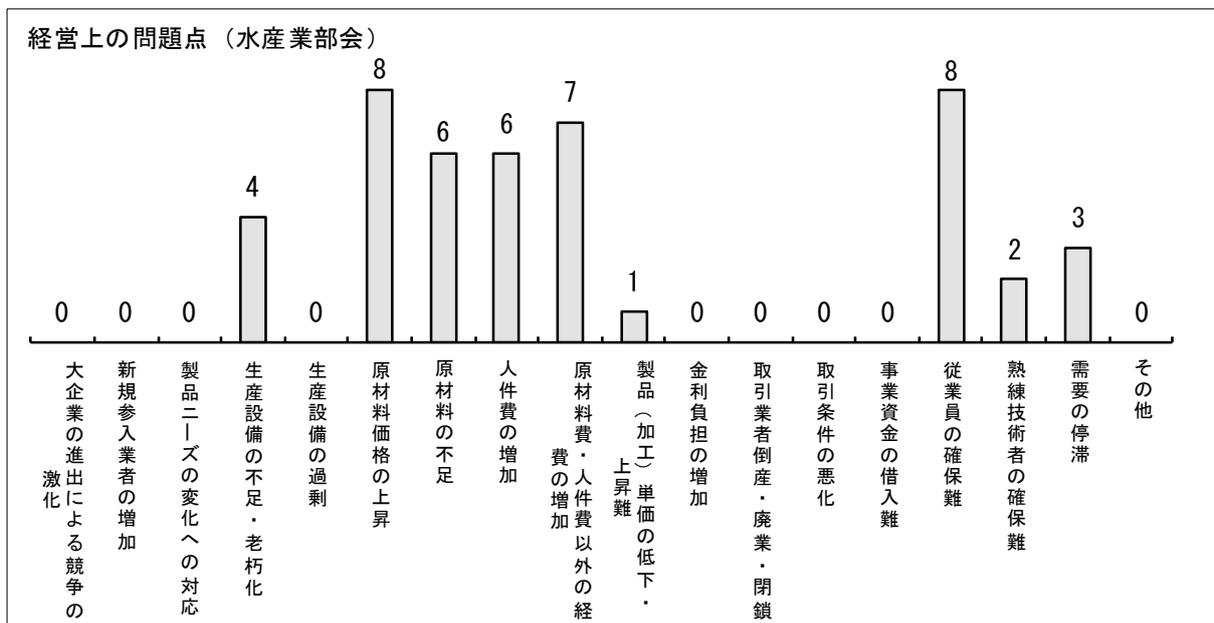


【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲64.3（前年DI値▲12.5、来期見通し▲35.7）〕

業況判断DI値（前年同期比）は51.8ポイントの大幅な悪化となりました。「ALPS処理水」の海洋放出により、日本産水産物の中国向け輸出が引き続き制限されているのに加え、原材料の不足・価格上昇にも苦慮しています。更に、2024年1月1日に発生した能登半島沖地震により、被災地支援として能登地方へのふるさと納税が多く活用され、その代わりに、紋別市へのふるさと納税が減少したとの声が寄せられ、その影響が伺えます。次期の見通しは、主力のホタテなどの水揚げの本格化などで今期よりは改善する見通しになっているものの、▲35.7と苦しい状況は続くと思われています。経営上の問題点としては「原材料不足・価格の上昇」、「従業員の確保難」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・ 段階を踏んだ設備投資を実施予定。（水産加工）

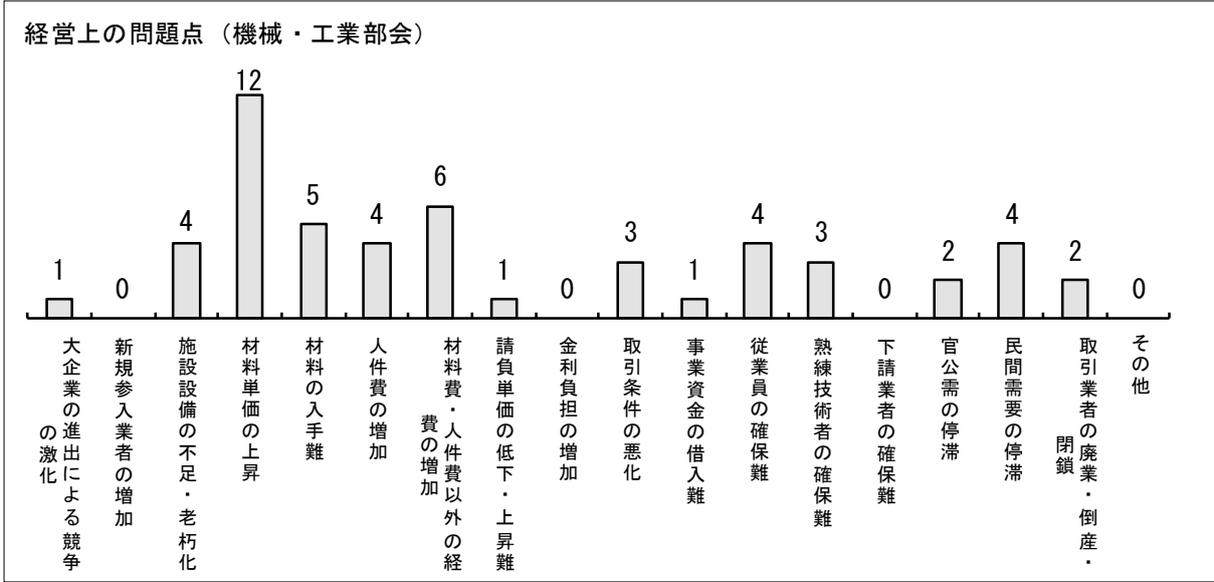


【機械工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲20.0（前年DI値▲13.3、来期見通し▲13.3）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、6.7ポイントの悪化となりました。今期においても回答企業のほとんどが経営上の問題点に挙げている、円安による輸入コストの上昇、材料や仕入の価格の高騰が続いており、業況悪化の原因になっていると考えられます。次期の業況見通しですが、一部では半導体不足の解消に伴い、売り上げ増加が見込まれており、▲13.3とやや回復する見通しです。経営上の問題点としては「原材料価格の上昇」、「経費の増加」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・ いまだに続く仕入単価の上昇で、売り上げになかなか転化できず。品物を運ぶのに人手が必要で、シルバー人材センターにお願いしているが、人件費も増加。その板挟みで利益に影響している。（家具・建具・畳小売業）
- ・ 自動車業界の半導体不足の解消に伴い、売り上げ増加が見込まれる。（自動車小売業）

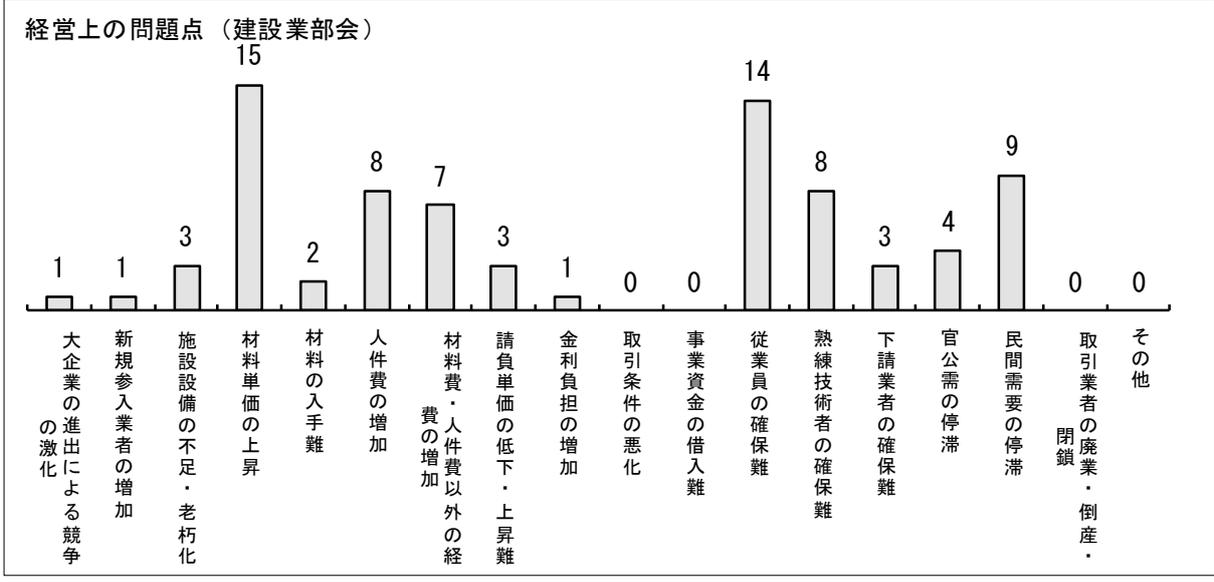


【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲26.3（前年DI値9.1、来期見通し▲52.6）〕

業況判断DI値（前年同期比）は35.4ポイントの大幅な悪化となりました。材料単価や運送費の上昇などのコスト高に加え、従業員の確保が難しいとの声が多く寄せられています。次期は、DI値が▲52.6と再び大幅な悪化の見通しとなっており、苦しい状況が続く見込みです。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」「従業員の確保難」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・ふるさと納税が順調であれば市発注工事は増えると思うが、その他は減少していくと思う。（土木工事）
- ・人手不足、人材の確保難（土木工事）
- ・今年度（2024年4月以降）の公共工事は大変厳しい状況にあり、民間住宅に関してはかなりの率でハウスメーカーに受注されている。紋別の業界もハウスメーカーに負けないために、技術的なことも含め、考える時期に来ていると考えています。（建築工事）
- ・資材の値上がりが一番の問題。運送費の値上がりで資材の直送も難しくなり、納入の日数が1、2日ほど遅れるようになり、材料代+運送費の影響が出てきている。（電気工事）



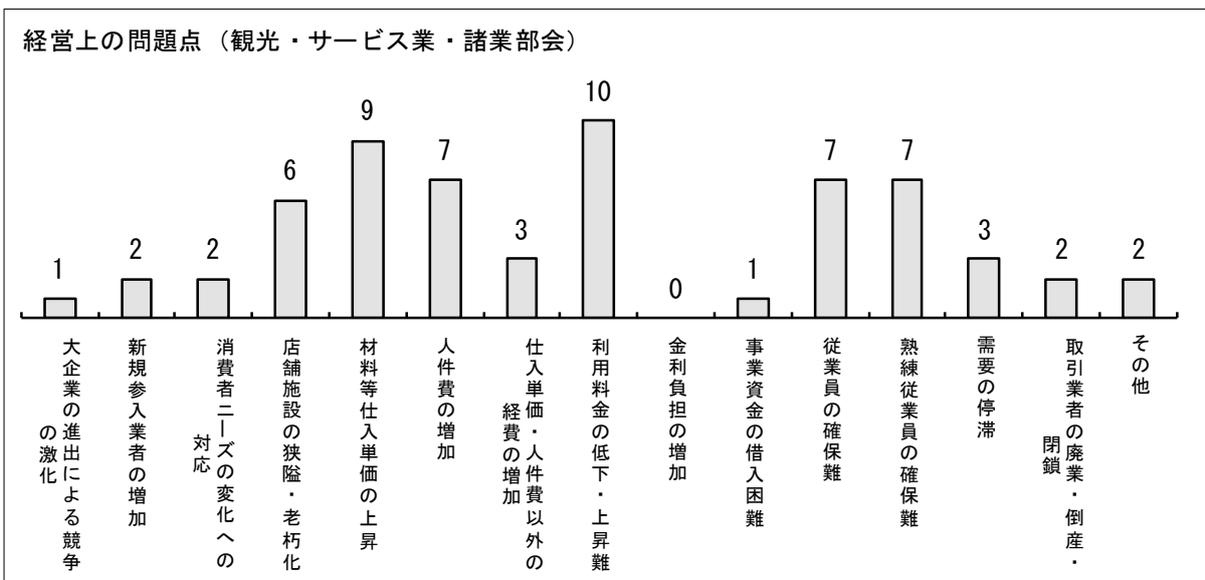
【観光・サービス業・諸業部会】 〔業況判断DI値（前年同期比）▲5.2

（前年DI値6.7、来期見通し0.0）

業況判断DI値（前年同期比）は11.9ポイント悪化しました。昨年同期と比べると、新型コロナウイルス感染症の5類移行により新年会等の会が増え、飲食業の業況が好転しています。しかし、建築業の業況悪化や燃料代高騰の影響などから、測量などの建築サービス業や貨物運送業の業況が悪化しています。経営上の問題点を見ると、物価や仕入単価は上昇しているが、利用料金は上昇させることができずに業況が悪化していると考えられます。来期はDI値0.0とやや回復する見通しとなっています。経営上の問題点としては、従業員の高齢化に伴う「従業員の確保難」、「仕入単価の上昇」、「利用料金の低下・上昇難」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・物価上昇に価格が追いつかない。（飲食業）
- ・仕入単価の上昇が止まらない。（飲食業）
- ・高齢化による人員の減少により、従業員の確保が重大な問題（旅客運送業）
- ・燃料代高騰、諸経費高騰、人材確保難（旅客運送業）
- ・荷主が運送会社より優位と思っている（周辺市町村はこの限りではない）（貨物運送業）
- ・顧客・従業員ともに高齢化している。（建物サービス業）
- ・国の介護報酬の低下（訪問介護事業）



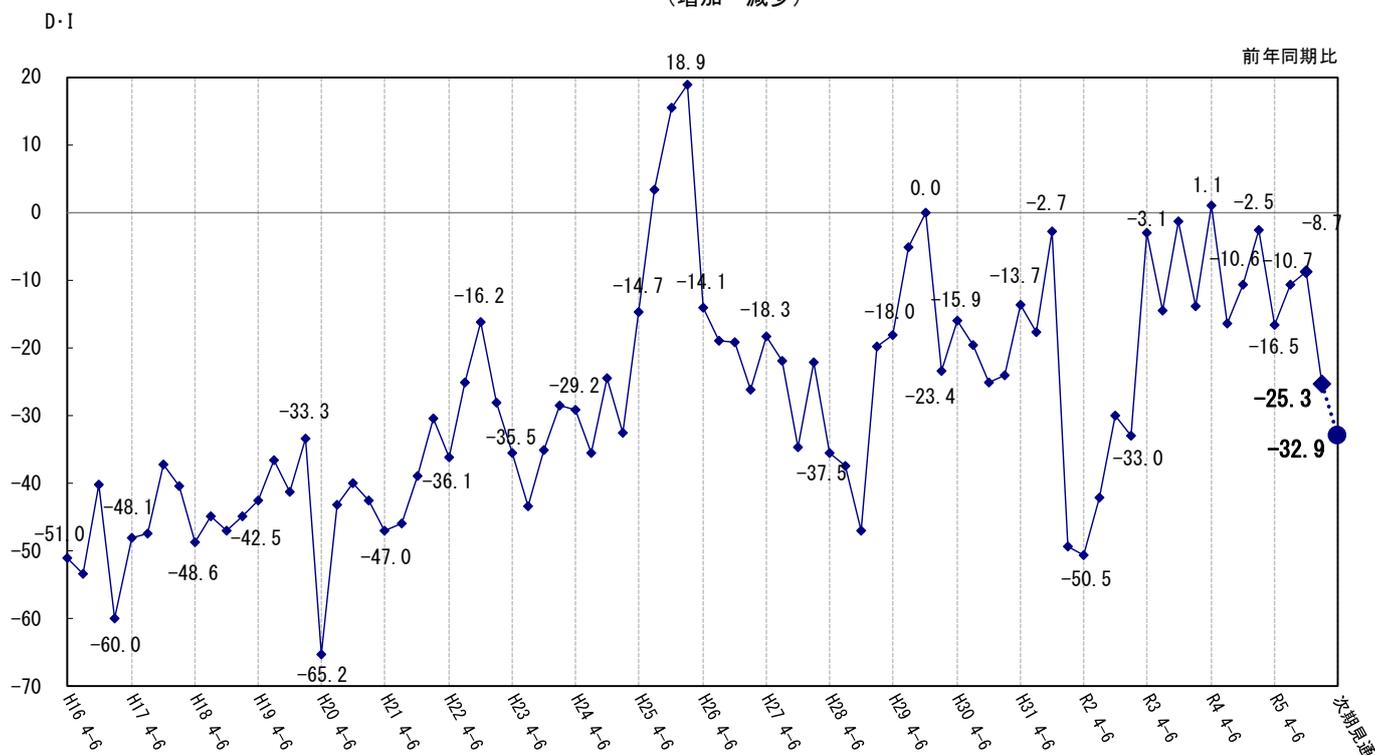
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

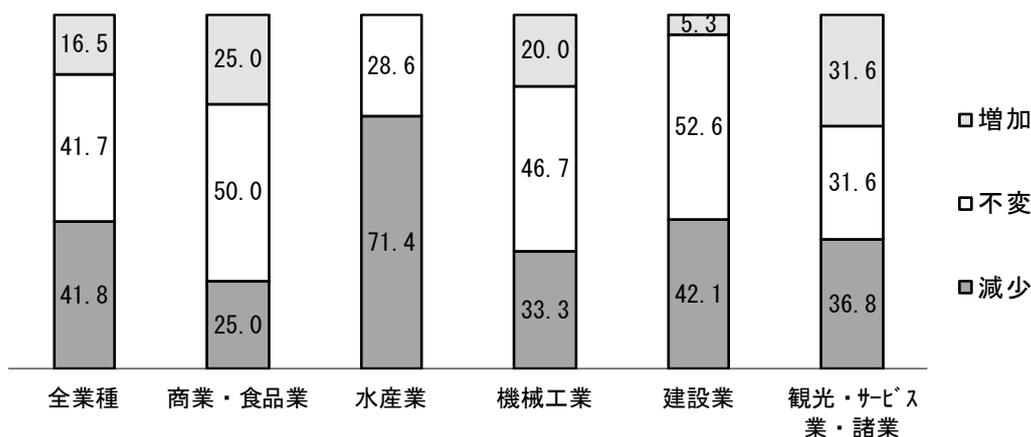
【前年同期比】（2023（令和5）年1月～3月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高・生産高推移（全業種平均D・I）

（増加－減少）



今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均でDI値▲25.3〔前年同期（令和5年1～3月期 ▲2.5）より22.8ポイント悪化〕、商業・食品業、機械工業、観光・サービス・諸業が回復。水産業、建設業が大幅な悪化。

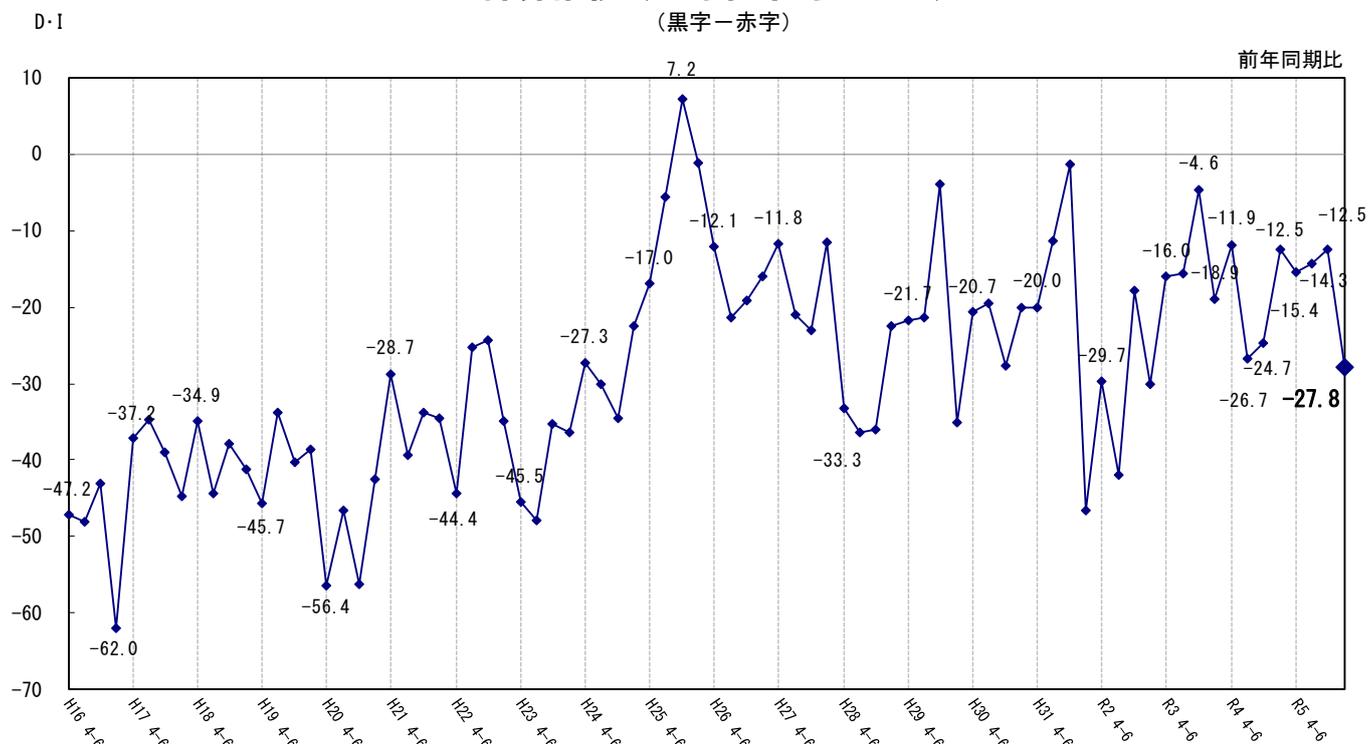
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲16.7→0.0〕、水産業〔前年12.5→▲71.4〕
 機械工業〔前年▲20.0→▲13.3〕、建設業〔前年18.2→▲36.8〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲20.0→▲5.2〕

(2) 今期の採算

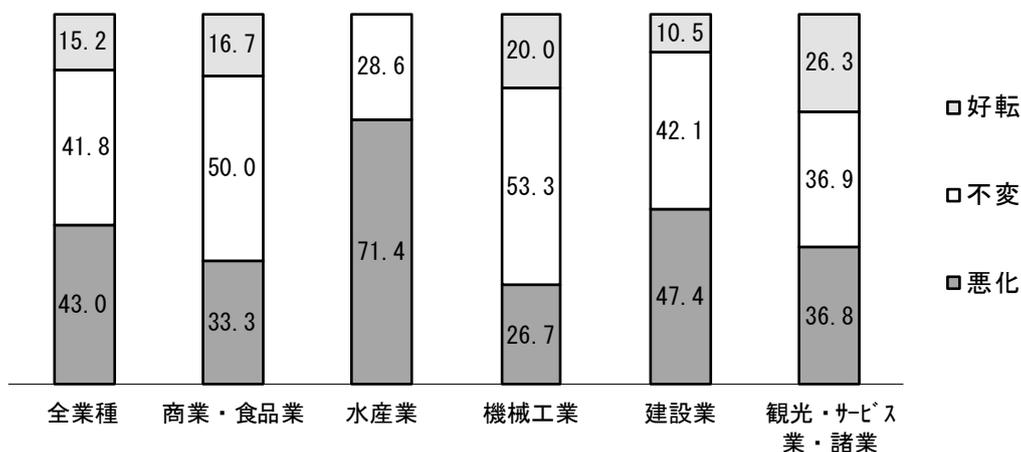
【前年同期比】（2023（令和5）年1月～3月期の水準と比較した今期の採算水準）

採算推移（全業種平均D・I）

（黒字＝赤字）



今期の採算（前年同期比）



全業種平均でDI値▲27.8〔前年同期（令和5年1～3月期 ▲12.5）より15.3ポイント悪化〕
機械工業、観光・サービス業・諸業が回復。商業・食品業が悪化。水産業、建設業が大幅な悪化。

【部会別DI値】 商業・食品業〔前年▲8.3→▲16.6〕、水産業〔前年▲25.0→▲71.4〕
機械工業〔前年▲20.0→▲6.7〕、建設業〔前年0.0→▲36.9〕
観光・サービス業・諸業〔前年▲13.3→▲10.5〕

(3) 今期の資金繰り

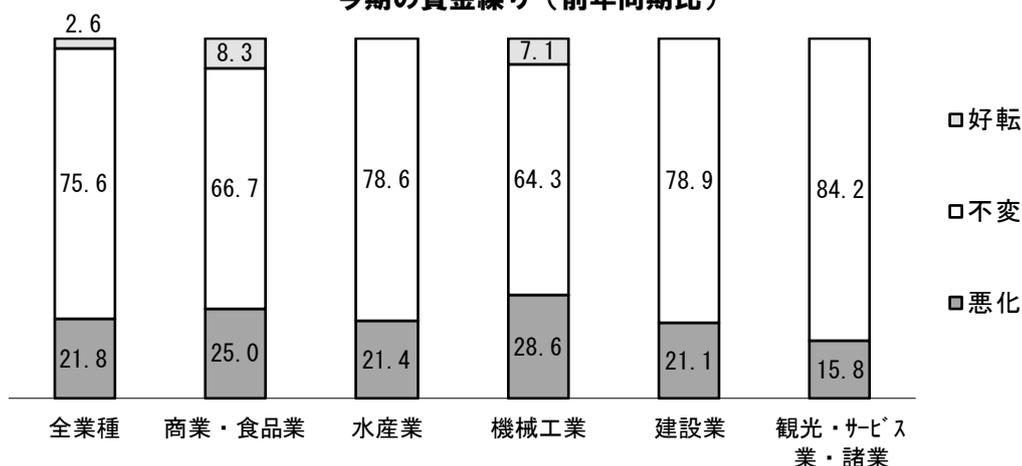
【前年同期比】（2023（令和5）年1月～3月期の水準と比較した今期の資金繰り）

資金繰り推移（全業種平均D・I）

（好転－悪化）



今期の資金繰り（前年同期比）



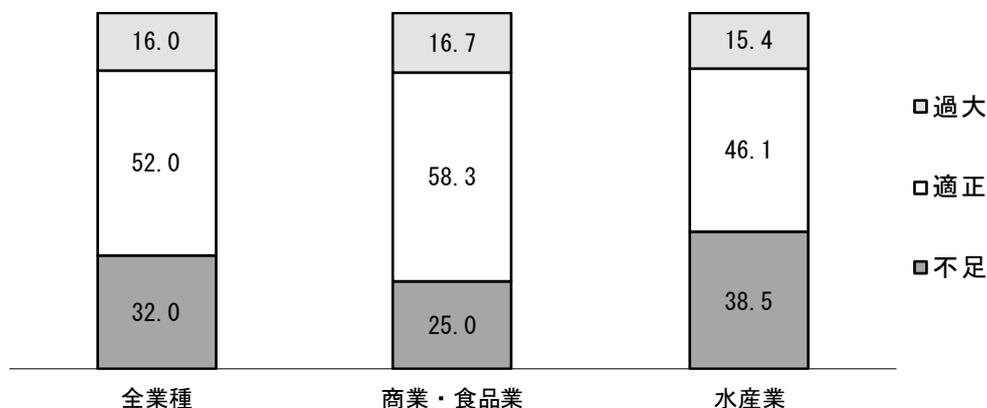
全業種平均でDI値▲19.2〔前年同期（令和5年1～3月期 ▲2.5）より16.7ポイント悪化〕すべての業種で悪化。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年0.0→▲16.7〕、水産業〔前年6.2→▲21.4〕
 機械工業〔前年▲7.2→▲21.5〕、建設業〔前年▲4.6→▲21.1〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲6.7→▲15.8〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（2023（令和5）年1月～3月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



全業種平均でDI値▲16.0〔前年同期（令和5年1～3月期 ▲10.7）より5.3ポイント不足傾向〕

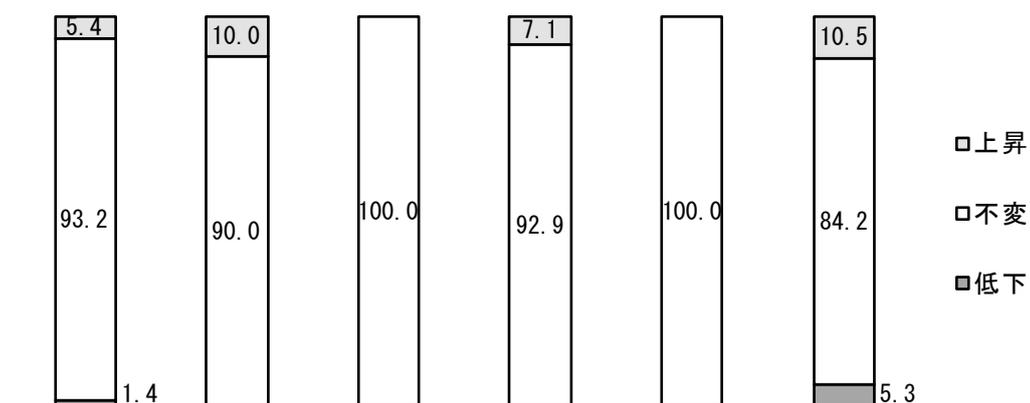
商業・食品業、水産業ともに不足傾向となった。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年0.0→▲8.3〕、水産業〔前年▲18.8→▲23.1〕

(5) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】（2023（令和5）年1月～3月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

今期の借入金水準



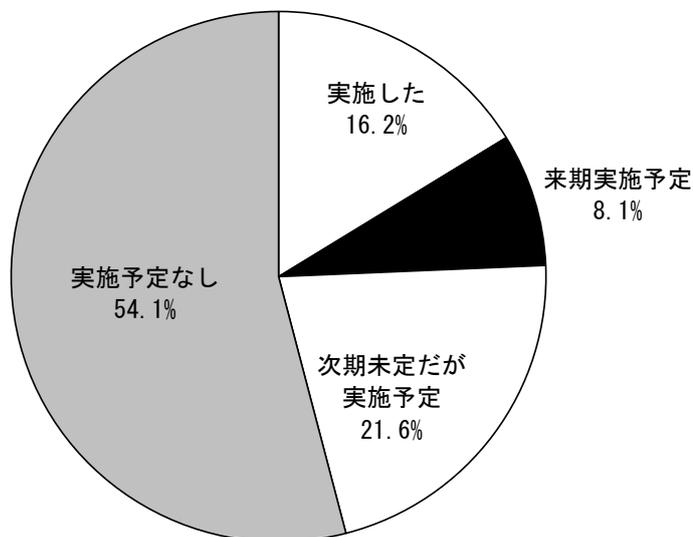
全業種平均で4.0。前年同期（令和5年1～3月期 6.9）よりも2.9ポイント低下している。商業・食品業、観光・サービス業・諸業で上昇。機械工業が低下。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年0.0→10.0〕、水産業〔前年0.0→0.0〕
 機械工業〔前年25.0→7.1〕、建設業〔前年0.0→0.0〕
 観光・サービス業・諸業〔前年0.0→5.2〕

(6) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

設備投資の実施状況

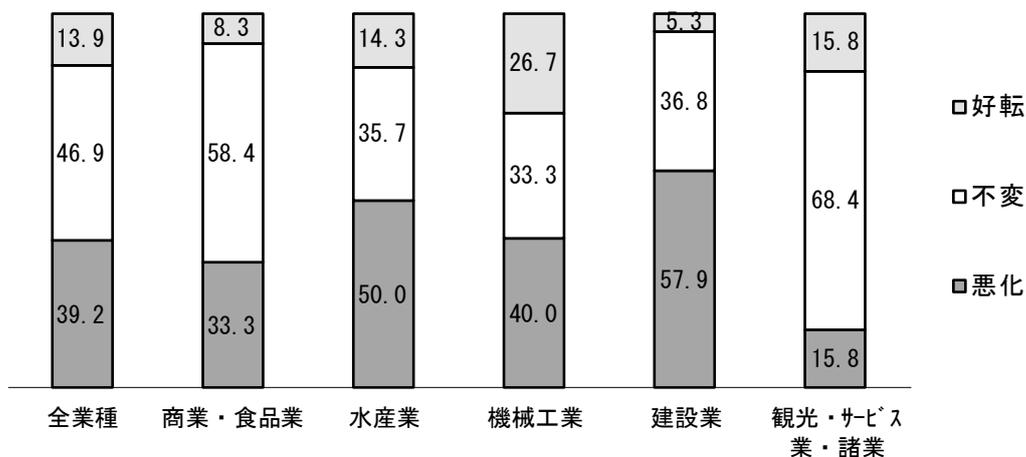


3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】(2024(令和6)年1月～3月期の水準と比較した来期の業況見通し)

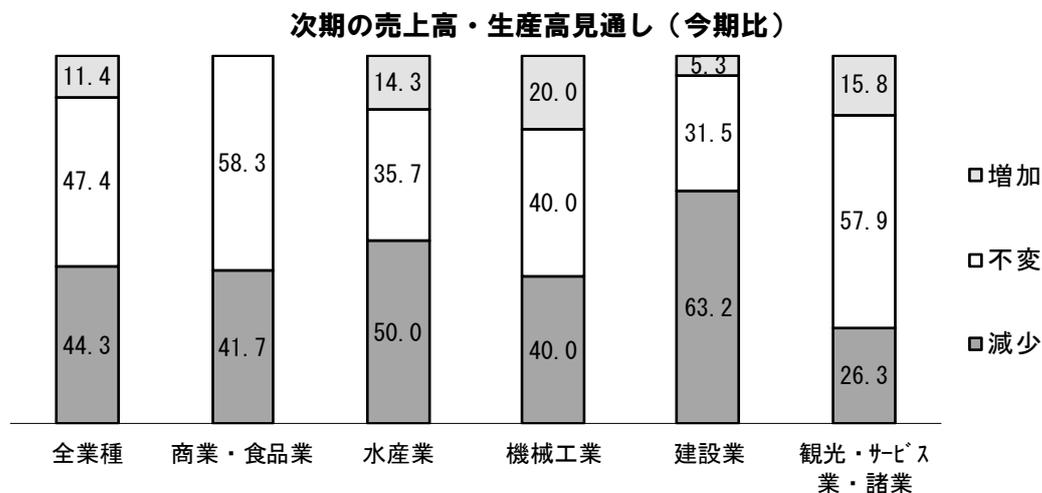
次期の業況見通し(今期比)



全業種平均DI値▲25.3〔今期の業況(前年同期比▲6.3)より19.0ポイント悪化の見通し〕

(2) 来期の売上高・生産高

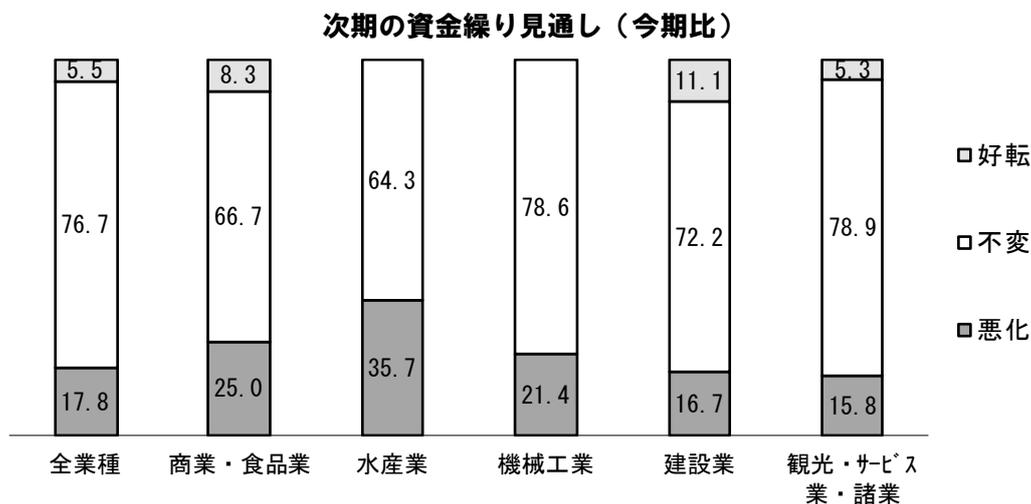
【今期比】（2024（令和6）年1月～3月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）



全業種平均 DI 値 **▲32.9** [今期の売上高・生産高（前年同期比▲10.0）より 22.9 ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（2024（令和6）年1月～3月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）



全業種平均 DI 値 **▲12.3** [今期の資金繰り（前年同期比▲5.2）より 7.1 ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食品業	水産業	機械工業	建設業	観光サービス業 ・ 諸業
業況判断 D・I	今期実績	▲25.3	▲16.6	▲64.3	▲20.0	▲26.3	▲5.2
	来期見通し	▲25.3	▲25.0	▲35.7	▲13.3	▲52.6	0.0
売上・生産 D・I	今期実績	▲25.3	0.0	▲71.4	▲13.3	▲36.8	▲5.2
	来期見通し	▲32.9	▲41.7	▲35.7	▲20.0	▲57.9	▲10.5
在 庫 D・I	今期実績	▲16.0	▲8.3	▲23.1	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採 算 D・I	今期実績	▲27.8	▲16.6	▲71.4	▲6.7	▲36.9	▲10.5
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲19.2	▲16.7	▲21.4	▲21.5	▲21.1	▲15.8
	来期見通し	▲12.3	▲16.7	▲35.7	▲21.4	▲5.6	▲10.5
借入金 金利水準 D・I	今期実績	4.0	10.0	0.0	7.1	0.0	5.2
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準D・I値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。